



きになる木

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- 身近な自然の多様性に気づき、それらを生かして創造する喜びを味わうことができます。
- 道具の安全な使い方を習得することができます。

【教科への対応】 小学校：図画工作など 中学校：美術、技術・家庭など

2 活動の概要

ダンボールの台紙に梅の木の枝やドングリなどの自然素材を貼り付け、手軽な壁掛けを作る活動です。

- (1) 人数 160人以内
- (2) 対象 小学校3年生～中学生・高校生
- (3) 期間 通年
- (4) 時間 1～1.5時間（説明15分＋活動45～75分）
- (5) 場所 体育館、研修室1・2、キャンプセンター
- (6) 経費 30円／1作品
- (7) 指導 製作方法等について、自然の家職員が説明（直接または間接指導）を行う。



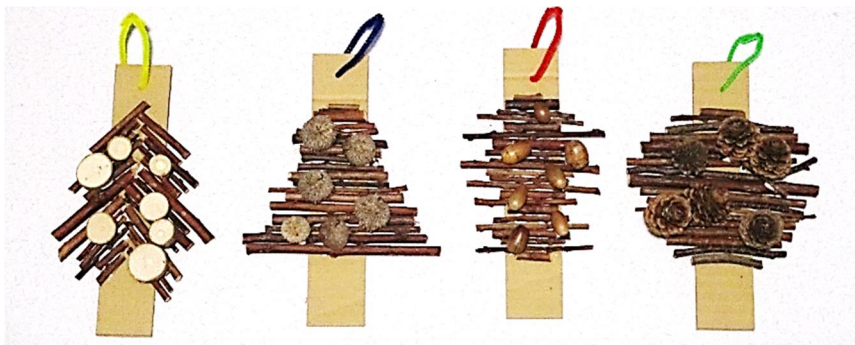
<作品例1>

3 準備物

団体	救急薬品
個人	軍手、作品を入れるビニール袋
自然の家	材料：ダンボール（台紙：4～5cm×20cm1枚）、梅枝、自然物（小さめのもの）モール（1本） 用具：剪定ばさみ、キリ、木工用ボンド、作業板

4 引率者の役割分担

代表責任者	1名。全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者	数名。子どもたちの活動を支援し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。



<作品例2>

5 活動の流れ

	内 容	
説 明	<ul style="list-style-type: none"> 参考作品を提示しながら、作り方について説明 用具の使い方と安全について説明 	
活 動	<ol style="list-style-type: none"> ダンボールの台紙（以下「台紙」）の片方の端から1～2cmのところにキリで穴をあける。 <ul style="list-style-type: none"> 台紙の端を持ち、作業版に向かってキリを突き通す。（人にキリを向けない） 梅枝を剪定ばさみで好みの長さに切り、枝を並べて枝を並べて木の形や枝の配置を決める。（まだボンドはつけない） <ul style="list-style-type: none"> 最初の枝は、穴の開いていない方の端から5cm程度はなしたところから置き始める。 台紙からあまり長く伸ばすと、はじに力がかかったとき枝がとれやすいので注意する。 枝の配置が決まったら、ボンドで台紙に貼り付けていく。 並べた枝の上に木の実として、好きな自然物を貼り付ける。 <ul style="list-style-type: none"> 自然物は1種類だけではなく、数種類混ぜてもよい。 最後に穴にモールをとおして輪にし、吊り下げられるようにして完成。 	 ①  ②   ④  ⑤
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 感想発表や友達の作品の鑑賞 用具の返却と後片づけ 	

6 実施上の留意点

- 2種類の木工用ボンドを使用できる。



<ボトル>

<皿・ヘラ>

ボンドを皿に取りヘラで塗る。
（使用後の皿は水洗いして返却）

【改訂ポイント】
ホットボンドを廃止し、
木工用ボンドで製作することとした。

7 安全に実施するためのポイント

- 剪定ばさみ等でのけがを防止するため、なるべく軍手をつけて作業する。
- 道具を散乱させないように気をつける。
- 刃物を扱うときは、刃の前に指や手を置かないように十分気をつける。
- ホットボンドは必要に応じてコーナーを設置し、使用する。（個別研修会で要相談）
- 長い梅枝を運ぶ場合は周囲の様子に気を配り、枝を振り回したりしないように注意する。